

2021年12月9日

## 資料2

日本労働ペンクラブ  
代表 山田計一 殿

日本労働ペンクラブ  
労働遺産認定委員会  
委員長 西沢昇治郎

### 2021年度労働遺産認定について（答申）案

本委員会は、日本労働ペンクラブ2021年度総会（2021年1月12日）で決定した労働遺産認定要綱に基づき設置され、会員より申請された労働遺産候補について審議を行った。その結果、下記の候補について推薦し、労働遺産として認定を承認されるよう答申する。

なお、推薦に至る経緯、認定に関する補足並びに今後の事業運営等に関する本委員会としての主な論点や要望については、別添添付資料を参照されたい。

#### 記

<日本労働ペンクラブ認定労働遺産候補>

1. 認定趣旨：「川崎・三菱大争議など大正時代の関西労働運動の記録」  
（申請内容及び添付参考資料は別添申請書による）

○認定遺産及び認定証交付先

- ①「労働者新聞」
- ②「神戸川崎・三菱造船所大争議の実写フィルム」  
・上記2点の認定証交付先：法政大学大原社会問題研究所
- ③歴史的文献「死線を越えて」（賀川豊彦著・草稿）  
・認定証交付先：賀川豊彦記念松沢資料館
- ④記念碑 賀川生誕100周年記念碑  
・認定証交付先：賀川記念館

2. 認定趣旨：「日本の近代的労働運動発祥の地に関する記念碑と遺構」  
（申請内容及び添付参考資料は別添申請書による）

○認定対象及び認定証交付先

- ①日本労働運動発祥之地「石碑」
- ②「惟一館」（初期労働会館）の煉瓦塀の一部と煉瓦  
・認定証交付先：一般財団法人日本労働会館  
管理者：友愛労働歴史館

以上